

## 太刀 銘備前国友成

指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	たち めいびぜんのかにもなり
所在地	玉野市
指定年月日	昭和62年6月6日
解説	長さ79.2cm、反2.7cm、鎬造、庵棟。刃文小乱。目釘穴1個。友成は日本刀が完成した平安時代中期から後期頃の刀工で、備前鍛冶の祖と伝えられている。腰反りが高く踏張りつき、先をやや伏せた小峰の優美な姿は制作年代の古さを示している。また、地肌がさほど整わず、地沸を敷いて淡く映りが立ち、丁子の刃文がほとんど交らない小乱の刃文などは、平安時代の備前物の中でも特に古雅である。現存する友成の作中、鶯丸と称される太刀(宮内庁)と共に最も古いものの格調高い一口であり、製作当初の姿をほぼそのまま伝えて保存も良好である。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	